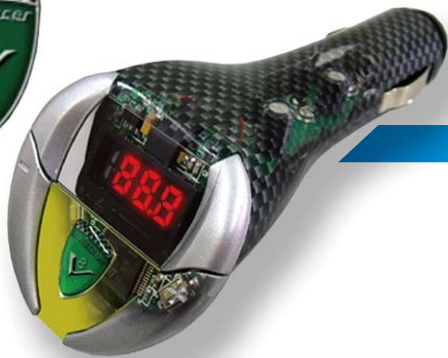




SoundRacer®

2009年にスウェーデンに設立されたサウンドレーサー社が発表した製品はシガライターソケットに差し込むだけでエンジン回転数にシンクロしたチューンドエンジンサウンドが手に入るガジェットです。オルタネーターからのパルスを検知し、エンジン回転数に合わせて音を変化させる仕組みになっており、音声はFMトランスミッターから車のラジオに送信します。(周波数範囲:88,1から107,9 MHzの間で選択可能) 12V/24V両方使えます。

またMP3プレイヤー用3.5mmステレオ入力端子付(ケーブル付属)なのでトランスミッターとしてMP3プレイヤーの音楽をFMに飛ばす事も可能です。



迫力のV8サウンド

音源となったのは、シェルビー・コブラの7Lエンジン。低音が強調されたV8エンジン音をアイドリング音も含めて再現しました。コダワリが感じられるサウンドです。



最先端のV10サウンド

音源となったのは、ランボルギーニ・ガヤルドのバンク角90°を持つ水冷V型10気筒エンジン。等間隔燃焼を実現するために様々な設計思想の最先端技術を投入したこのエンジン音を再現しました。この音源をデジタル加工して特注のプロセッサーでエンジン回転に合わせて独特のエンジン音を発します。



伝説のV12サウンド

サウンドレーサー初のプレミアム(レーシング)モデルの音源となったのは、1980年のフェラーリ512BBLMのウェーバーキャブレター付き12気筒DOHC水平対向エンジン。実際にムジエロサーキットを走行して収録した音源を新たに開発したV12専用のプロセッサーでアフターファイア音も再現しました。